

令和6年度 東京都立砂川高等学校学校経営報告（通信制課程）

東京都立砂川高等学校
校長 大場 充

本校通信制課程は学習意欲のある生徒に、実り多い高校教育の機会を広く提供する「セーフティネットスクール」として、様々な生徒のニーズと都民の期待に応える学校を目指している。社会の変化に伴い通信制に学ぶ生徒たちの姿は変化しつつある。生徒の自学自習を支援し、教育機会の充実を図る学校として、「誰でも学べる学校」「いつでも学べる学校」「どこでも学べる学校」をモットーに、「学び」とのつながり、「人」とのつながり、「世の中」とのつながりの「3つのつながり」を基本的コンセプトとして教育活動を展開してきた。

今年度はこれまでの指導に重ねて、デジタル・レポートの本格実施に着手した。については令和6年度学校経営計画における重点目標と数値目標について、その達成度を以下に示す。

1 今年度の重点目標

【教務部】		
	内 容	評価
重点目標	1 卒業生数の増加に向け、単位修得率の向上を図る。そのためにスクーリングの出席率及びレポート提出率を向上させるべく工夫を凝らす。 2 デジタル・レポート実施に対応して、生徒の理解しやすかつ使いやすいテキストを目指して改善していく。	
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧それぞれの課程の生徒が受講する科目の登録に際し、教員間での分業体制を導入（従来は担任が担当）することにより、入学区分（新入・転入・編入）・前籍校教育課程開始年度・単位修得状況に応じたきめ細やかな登録指導を行った。 ・4月の入学者選抜後の科目登録指導のみならず、夏期・冬期における転学・編入学募集実施後の科目登録指導においてもこの流れを踏襲した。 ・学習活動において一人1台端末を活用する場を十分に確保した。（スクーリング、中間課題、評価に係る判断材料等） ・一人1台端末購入対象者でない生徒へ端末貸出を躊躇なく行った。 ・専任教員全員が、一人1台端末（または貸出用端末）を活用したスクーリングを土曜日に少なくとも年に1回は実施した。 ・一人1台端末を重点的に活用する火曜スクーリングを開講した。 ・今年度においても、次年度に向けたシステム改修の要望を行った。 ・現行電子レポートのシステムには、「使い勝手の良さ」や「教育内容の自由度」の面での課題を認識しており、次期更改等に向けて他システムや他校の実践例等について調査研究を行い、関係部署に情報提供を行った。 ・NHK講座視聴報告の際に、報告用紙提出ではなく Teams 内での Forms にて報告を送信することを引き続き継続し、多数の生徒が活用（前期：497件 後期：1111件） ・NHK講座が放送されていない科目を中心にオンラインスクーリングを実施した。 ・デジタルサポーターを中心とした「パソコン教室」を7回実施。 ・電子レポートのサポート Time を前期に3回実施（1回目1名、2回目2名、3回目1名）。 ・生成AI研究校として、現代の国語・国語表現・地理総合・科学と人間生活・化学基礎・生物基礎・ベーシックサイエンスAにおいて、生成AIを活用したスクーリングを実施。 	
	以下 数値目標欄で *印の項目は成果等の参考値	

数 値 目 標	1 レポート提出率の向上（目標 60%） ○61.8%(昨年 68.6%)	A
	* 電子化されたレポート提出率（目標 50%） 59.8%	
	2 スクーリング出席率の向上(目標 70%) 69.8%(昨年 68.8%)	
	3 単位修得率の向上(目標 60%) 51.2%(昨年 51.4%)	
	* 卒業生数 175名(昨年 157名)	

【生活指導部】

	内容	評価
--	----	----

重 点 目 標	<p>1 多様な生徒の課題に対応するため、教育相談体制を充実する。特にスクールカウンセラーと学級担任との連携を密にするとともに、生徒理解のための研修会を実施する。</p> <p>2 生徒一人一人が、安心して楽しく学べる学校であるために、「都立高校生活指導指針」に基づき、学校や社会のルールを守る指導を全教員で組織的に取り組む。定められた学校生活のきまりやルールは、全生徒に定着するよう繰り返し指導し徹底する。</p> <p>3 生徒が主体となる活動を支援する。組織的にスポーツ大会・校外学習・部活動を実施するなど生徒が主体となる学校生活を支援する。</p>	
------------------	--	--

具 体 策	<p>1 生徒の安全安心な学校生活をサポートするため、担任による文書データ「情報共有シート」やケース会議を通して積極的に行う。</p> <p>2 「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」等を活用し、生徒が参加しやすく、楽しめる学校行事を設定し、生徒の自主的・実践的な態度の育成が可能となる内容とする。</p> <p>3 全校集会、SHR、Teamsによる全校生徒向けの情報発信等で学校生活のルールを周知させ、安心・安全な学習環境を自ら守る意識を生徒全員に育成する。</p> <p>4 担任、スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー、外部組織等で連携して多様な生徒の課題に対応する。課題の共有のために校内研修を実施する。</p> <p>5 託児室の安全安定的な運営と、ユースソーシャルワーカーや外部組織との連携により、生徒が抱える福祉的課題に取り組む。</p> <p>6 定時制文化祭への参加、通信制及び一部定時制の部活動への参加を通して、生徒の自主的・主体的活動をサポートする。</p>	
-------------	--	--

数 値 目 標	1 健康診断受診率 60%以上	○67%
	2 スポーツ大会、校外学習、文化祭参加生徒数 のべ50人以上	○55名
	* 教育相談についての校内研修 1回以上	1回

【進路指導部】

	内容	評価
--	----	----

重 点 目 標	<p>1 通信制のキャリア教育の充実を図り、自己実現の支援を行う。</p> <p>2 生徒一人一人への支援と社会参画の意識を啓発する。</p> <p>3 高大連携や専門学校と連携して、幅広い視点をもった人格形成を促す。</p>	
------------------	---	--

具 体 策	<p>1 進路希望調査、進路別模擬講義・体験授業、就職説明会、進学説明会、大学入学共通テスト説明会、高大・高専連携など進路行事を体系的に構築し、効果的な指導を実現するとともに、具体的な進路選択、決定に役立つ情報を Teams による生徒への情報提供や「砂川保護者だより」などで発信しながら、個別の相談活動を行い、担任の進路指導業務と連携しつつ、生徒のキャリア実現を図る。</p> <p>2 進路希望調査結果を生徒の個別指導に活かすと同時に、就職説明会・進学説明会・大学共通テスト説明会の内容をより生徒のニーズにあったものに充実させていきながら、ホームルーム指導の支援となるべく、Teams による生徒への情報提供をしつつ、ハローワーク立川などとの連携により、生徒の進路指針のための講演・講習会を実施する。</p> <p>3 専門学校の高校生向け授業公開情報の提供、体験授業などへ積極的に参加を促す取り組みを、Teams による生徒への情報提供、「砂川保護者だより」などにより推進する。</p>	
-------------	--	--

	大学・短期大学の公開授業、説明会への参加を、担任を通じて呼びかけ、その参加を促す。	
	4 特に大学進学志望の生徒等が活用できるよう、日曜日に外部模試の校内実施を行う。	
数値目標	1 卒業生の進路決定率（継続含む）、55% * 進学・就職説明会など参加者、延べ120名以上 * 外部模試の年度内校内実施回数 * 国公立・難関私大合格者数	47.4%(43.9%) 117名 10回(14回) 4名(0名)
【総務部】		
	内容	評価
重点目標	1 保護者宛てに「砂川保護者だより」を定期的に発行するとともに、生徒に対してTeamsを活用して情報発信を随時行う。 2 進路に関心がある生徒・保護者に対して学校説明を随時実施する。 3 学校要覧・学校案内を作成するとともに、ホームページを随時更新して新しい取り組みや学習風景の中学生等への対外的な発信に努める。	
具体策	1 隔月刊の「砂川保護者だより」により生徒の学習や進路等に必要な情報を必要な時期にあわせて提供する。Teamsによりスクーリング当日に必要な情報を精選して提供する。また、保護者コミュニケーションシステム（Classi東京都版）を活用し、保護者向けの情報提供に資する。 2 ホームページ上のオンライン学校説明会で通信制の学習を理解してもらうこと。また、個別相談会により、入学後の学習への円滑な移行を図る。 令和7年度以降は、2月入試が増設されるため、学校説明会（個別説明会）の時期設定等は検討課題である。 3 通信制課程への理解を深める適切な学校案内を作成し、募集に資する。在校生もこまめに確認したくなるようなホームページを目指し記事を作成・発信する。 4 総務部作成文書を電子データとしてファイルサーバ上に保管し、職員共有と次年度へのスムーズな業務移行を図る。	
数値目標	1 月報の配布回数年間 6回 2 ホームページの更新回数年間60回 3 校外（中学校など）での学校説明会実施年間5回	○ 6回 ○ 91回 ○ 6回

IV 今年度の数値結果

評価項目	目標値	結果	昨年度実績
1 レポート提出率の向上	レポート提出率60%	○61.8%	68.6%
2 スクーリング出席率の向上	70%	69.8%	60.9%
3 単位修得率の向上	全体60%、	51.2%	51.4%
4 教員の時間外業務	月平均10時間以内	平均15.7時間	平均15.0時間
5 教員の年休取得日数	平均15日以上	平均17.6日	平均16日
6 スポーツ大会、校外学習、文化祭参加生徒数	のべ50名	○55名	47名
7 学校説明会の参加者数	360名	(個別)11名	355名
8 ホームページの更新回数	年間50回	○91回	72回
9 卒業生の進路決定率（継続含）	55%	47.4%	43.9%
10 生徒の授業満足度	90%	89.1%	88.2%
11 生徒の学校満足度	90%	○90.6%	92.2%